

亀岡市入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所		平成30年7月27日(金) 午前10時から午前11時45分 亀岡市役所4階 入札室	
出席委員氏名(職業)		委員長 久保 祐貴(弁護士) 委員 村田 淑子(京都学園大学経済経営学部教授) 委員 竹井 明(学識経験者)	
議事概要		(1)総括表について (2)入札契約方式別発注案件一覧表について (3)抽出案件に関する入札経緯等について (4)指名停止等の運用状況一覧表について (5)談合情報対応状況一覧表について (6)報告事項について	
対象期間		平成29年10月1日 ~ 平成30年3月31日	
対象件数		58件	
抽出案件		10件	
内 訳		対象案件	抽出案件
	一般競争入札	4件	2件
	指名競争入札	53件	7件
	随意契約	1件	1件
委員からの意見・質問とそれに対する回答等		意見・質問	回答等
		(1)総括表について ・特になし (2)入札契約方式別発注案件一覧表について ・特になし (3)抽出案件に関する入札経緯等について ・一般競争入札の参加申請受付日と入札日はそれぞれ2日間設定されているが、土日を挟まず設定しているのか。 ・入札日については、談合等の疑念を持たれないよう、土日を挟まず設定している。入札参加申請の受付については、申請のみであることから、そのような配慮はしていない。	

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	<p>予定価格を事後公表とする案件について、1回目の入札において有効入札者が全て予定価格を超過し、予定価格公表後の2回目の入札において辞退者が多いケースがあるが、予定価格の設定は適切になされたのか。</p>	<p>・予定価格の設定は適切になされたと考える。1回目の入札後に予定価格に対する質問期間を設けているが、今回の抽出案件では特に質問はなかった。</p>
	<p>・予定価格公表後に辞退者が多数いる場合には予定価格が適切かどうか問題となりうる場合があると思われるので、そのような入札状況等は設計担当課にも報告し問題意識を共有しておく必要があると考える。</p>	
	<p>・入札が不調に終わるケースは、今回の資料にはあがってこないが、何件位あるのか。</p>	<p>・年間2～3件、入札が不調に終わるケースがある。</p>
	<p>・未受領(指名したが入札に応じなかった)の業者については、そのような事態が続くようであれば調査も必要ではないかと考える。前回の委員会でも罰則について意見が出ていたが、その後どうされたのか。</p>	<p>・電子入札導入後は、システム操作に不慣れである可能性を考慮し、罰則を設けていなかったが、今後検討していきたい。</p>
	<p>・最低制限価格未満で失格になっている業者の入札額をみると、最低制限価格に千円満たないという業者が多いが、これは敢えて積算金額から千円を差し引いて入札しているのか、それとも、計算ミスなのかどうか分析できるのか。</p>	<p>・千円程度の差については、最低制限価格の計算過程における端数処理の方法によるものではないかと推測するが、詳細な分析については難しいと考える。</p>
	<p>・辞退の理由はどのような内容か。</p>	<p>・辞退理由の主な内容は、技術者が配置できないといったものである。</p>
	<p>・市外業者を指名業者として選定する場合、地域の制限を設けているのか。</p>	<p>・今回の抽出案件で市外業者を選定する際は地域の制限を設けていない。</p>
	<p>・入札参加業者申請時に地域の制限は設けていないのか。</p>	<p>・設けていない。</p>

	意見・質問	回答等
<p>委員からの意見・質問とそれに対する回答等</p>	<p>・既に工事を施工している業者へ、隣接箇所の工事を随意契約する場合があるが、工事期間が重複しなければ、随意契約ではなく、通常の競争入札での発注も可能なのか。</p> <p>・随意契約の落札率が高いが、もともとの設計が通常時の設計よりも低く設定されているのか。低く設定されていれば、落札率が高くても問題ないと考えるがどうか。</p> <p>(4)指名停止等の運用状況一覧表について ・特になし</p> <p>(5)談合情報対応状況一覧表について ・特になし</p>	<p>・重複しない工事期間で工事を施工することが可能であれば、通常の競争入札で業者を決定することも可能かと思われる。</p> <p>・施工箇所が隣接しており、隣接する箇所の工事を既に施工している業者に随意契約する場合については、設計金額が低く設定されていることはある。</p>